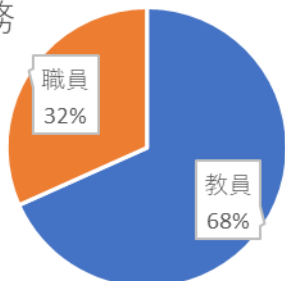


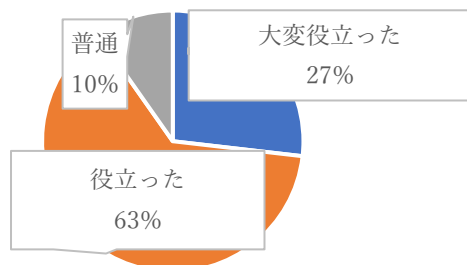
アンケート集計 (2024. 2. 14)

回答率 53.2% (41/77)

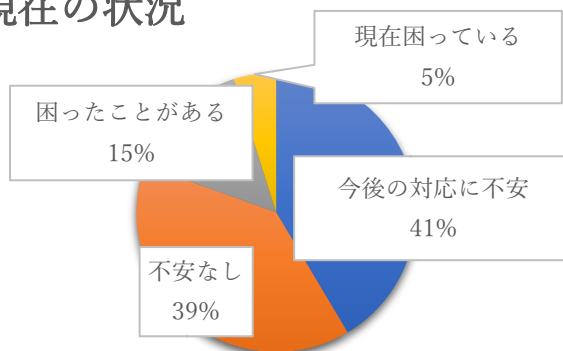
職務



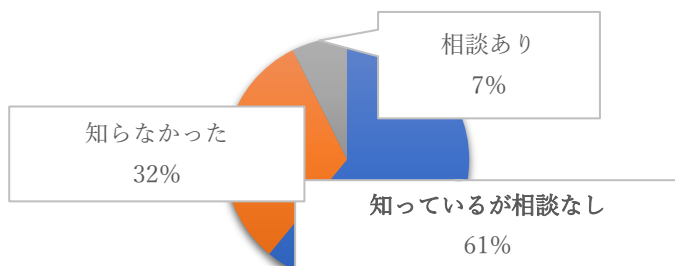
研修について



現在の状況



すいせいについて



本研修についてのご意見・ご感想(原文のまま)

- ・難しい問題だとは思いますが、少しずつ輪郭をはっきりさせて、心の準備をしたいと思います。
- ・グレーゾーンの学生に対する対応の程度を計るのが難しいと感じました。
- ・本日お聞きした内容や考え方は参考になった。今後、困りごとが発生した際は、これらの考え方をベースに進めていきたいと思いました。
- ・令和6年4月1日から合理的配慮の提供が義務化されることもあり、今後、障がい学生から支援等で困った際には相談したい。
- ・配慮について、他の学生の理解を得ることがどこまで必要で、可能かについても、教えていただけたらと思いました。いわゆる、逆差別にならないような配慮について。
- ・具体的なことを教えていただけて、とても参考になった。対話が重要であるという理由に、学生からの要望を聞く前にこちらから提案してしまうと、学生自身が自分の障壁について考えなくなる、というお話はとても印象的だった。時間やエネルギーを省略しようとして、こちらから提案する方が早いと思ってしまうが、学生が自身の障がいと生きていくには、学生自身が考える機会を奪わないのも大切な支援だと気づいた。
- ・修学支援での人的資源の不足への対応策として、ケア施設との連携があるとのことでは知りませんでした。このような対応策のバリエーションが増えるとより進むと感じました。
- ・参考になりました
- ・参考になりました。ありがとうございました。
- ・ありがとうございました。
- ・今後対応が必要になる可能性があるが、これまでに学ぶ機会がなかったので参加して良かったです
- ・具体的な対応を知ることができ大変参考になった。ありがとうございました。
- ・前回同様説明が分かり易かった。
- ・障がい者への学びの支援は必要なことではあり、対話で解決していくことが一番重要であることがわかった。
- ・ボーダーラインの際にどう対応すればよいのかの事例が参考になると思う
- ・ありがとうございました。
- ・たいへん勉強になりました。具体的には、「このような考え方があるのか」という、今まで自分で考えもしなかった新しい見方を学ぶことができました。
- ・事例を交えた説明で、とてもわかりやすかった。
- ・看護学部は障がいのある学生への対応はあまりないのですが、社会的な動きも含めて勉強になりました

- ・事例もあり具体的に障がいのある学生の支援の在り方について考えられました。
- ・良かったです。
- ・丁寧な対話、できないでなくどうすればできるかを考える姿勢を大切にしたいと思います。
- ・今後も続けていただきたいと思います。
- ・講演の中に具体的な事例がちりばめられていて、とてもよく理解できた。大変良かったと思います。
- ・最終的に対応をどうするかという結論だけではなく、その対応を決めるにあたっての学生との対話も重要だと思った。
- ・対応を要する学生が増えており、施策も進んでいることを理解しました。ありがとうございました。
- ・とりまとめの内容や具体的な事例をあげて説明していただきわかりやすかったです
- ・わかりやすかったです
- ・支援が必要な学生本人との現状認識や、支援内容のすり合わせをするために、結構時間がかかる場合もあると思いました。限られた時間と期間で双方が納得できる方針を立てることは簡単でなく、すぐにサポートしていただける態勢をキャンパス毎に作って欲しいとおもいました。
- ・実践例のアーカイブ的なものがあると助けになると思いました
- ・私も障がい者支援で苦勞しました。それぞれのケースがあるので、具体的な事例を聞くことができ良かったです。
- ・現在は具体的に困っていることはないが、知っておくことで将来役に立つかも知れない。
- ・障がいのある学生への就労支援は、大学の中だけで完結させるのではなく、地域連携により支援することが改めて重要と認識しました。
- ・定期的に新しい情報を知りたい。
- ・この手の研修が、構成員が高い倫理意識を持つために重要なことを理解しております。
- ・大学においてどのような対応が必要なのが分かりやすく説明されていてよかった。しかし、本学でどのような対応ができるのか、どのようなリソースがあるのかという説明が全くなく、知識をつけたとしても、本学で何がどのように可能なかのそうした情報の周知もあわせて行ってほしい。
- ・非常に参考になった。ただ、自分が当事者の時に適切な判断・対応がとれるか不安である。
- ・社会資源とのつながり、地域との連携などの適切な外部支援との接続とお話し

やられていたことが印象に残りました。とても大事なことですが、現時点ではまだまだ難しいことなのだと思います。

- ・とても勉強になりました。ありがとうございます。
- ・工学部教員です。障害を持つ学生の実験指導について、学生との合意を得る具体的なプロセスについて聞けて、大変参考になりました。今後、そういう状況に遭遇した時に大いに役立つと思います。

今後の研修テーマやダイバーシティ推進に関するご要望やご意見(原文のまま)

- ・発達障害がどういったものなのか、また、発達障害に対する合理的な配慮について、大学生・大学院生の事例などを紹介してほしい。
- ・多様性について、学生からどのようにみえているのかについても知りたいと思いました。
- ・事例を交えた継続した開催を支持します
- ・ありがたいです。
- ・生成AIの利用の是非
- ・骨折をして体育の実技に参加できなくなり単位が取れなかったという事例を聞いたことがあるが、これは問題ないか。
- ・障がいのある学生支援について、定期的実施していただくとありがたい。
- ・基本的な知識の提供だけでなく、本学で何ができるのかを明確に伝えるような研修を行ってほしい。
- ・大学生が利用できる社会資源について聞いてみたいです。
- ・引き続き、このような研修を継続して実施してほしいと思います。